

## 第3節 次代を育む文化・教育環境の創造

### 第2項 生涯学習やスポーツを楽しむことができるようにします

めざしたい将来像:

生涯を通じて学んだり、スポーツをする楽しさを味わい続けられるように、自主的に参加しやすい場所や機会を増やすことで、年齢に関わらず心身ともにいきいきと暮らせるまちを実現します。

指標

学習活動を行っている市民の割合

#### (1) 指標の説明

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動を行っている市民の割合を指標とします。

#### (2) 設問

この指標は、次の設問により期間を限定して直接的に聞いています。「個人・行動」

Q7 あなたは日頃、特定の関心があるテーマについて、自主的に学習活動をしていることがありますか。過去1年間を振り返って、学習活動に取り組んだ日数は平均するとどのくらいですか。(1つに○)

1 ほぼ毎日	3 月に数日ほど	5 全くない
2 週に数日ほど	4 年に数日ほど	

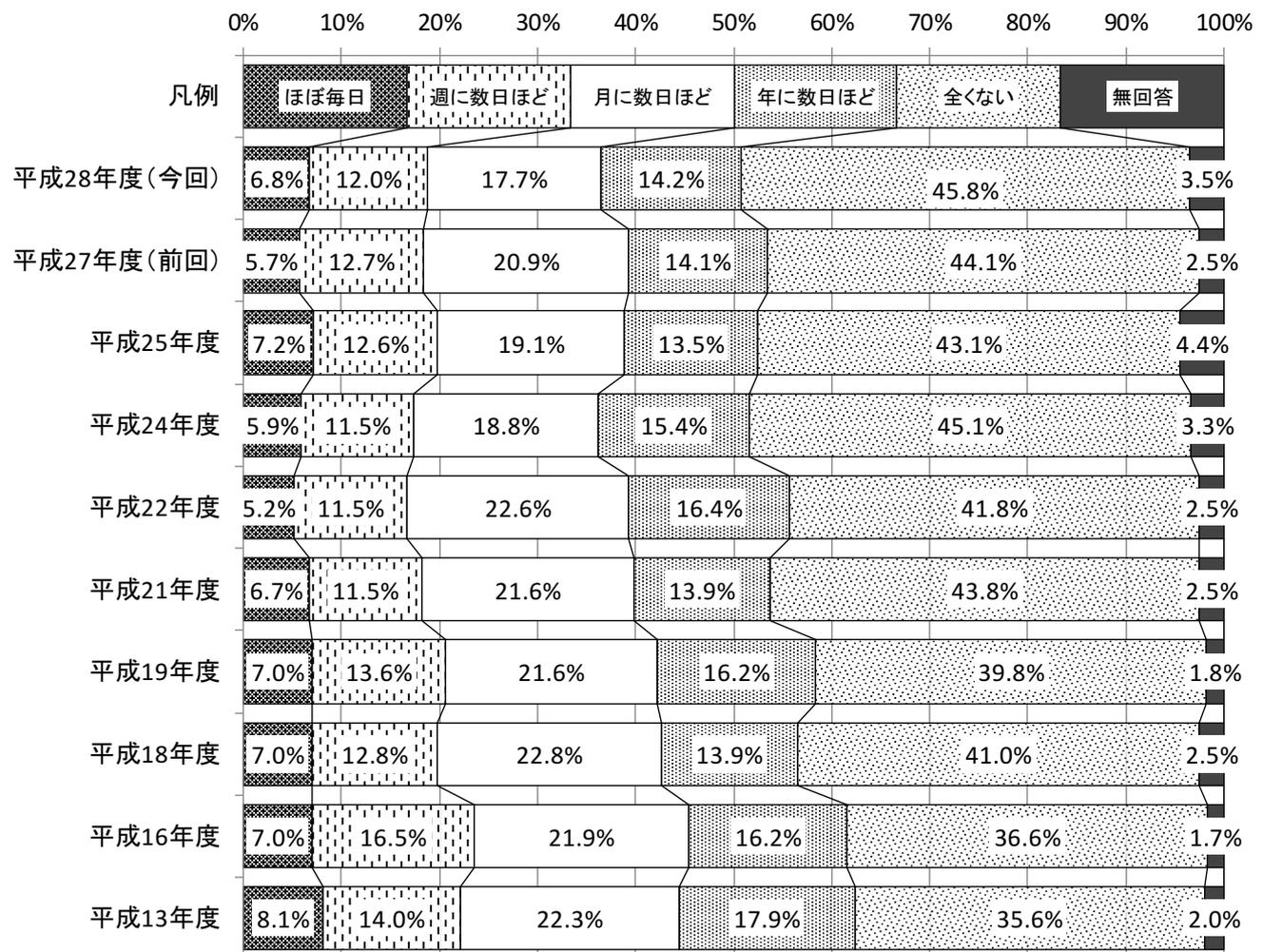
#### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
ほぼ毎日	8.1%	7.0%	7.0%	7.0%	6.7%	5.2%	5.9%	7.2%	5.7%	6.8%
週に数日ほど	14.0%	16.5%	12.8%	13.6%	11.5%	11.5%	11.5%	12.6%	12.7%	12.0%
月に数日ほど	22.3%	21.9%	22.8%	21.6%	21.6%	22.6%	18.8%	19.1%	20.9%	17.7%
計	44.4%	45.4%	42.6%	42.2%	39.8%	39.3%	36.2%	39.0%	39.3%	36.5%

#### (4) 指標の分析

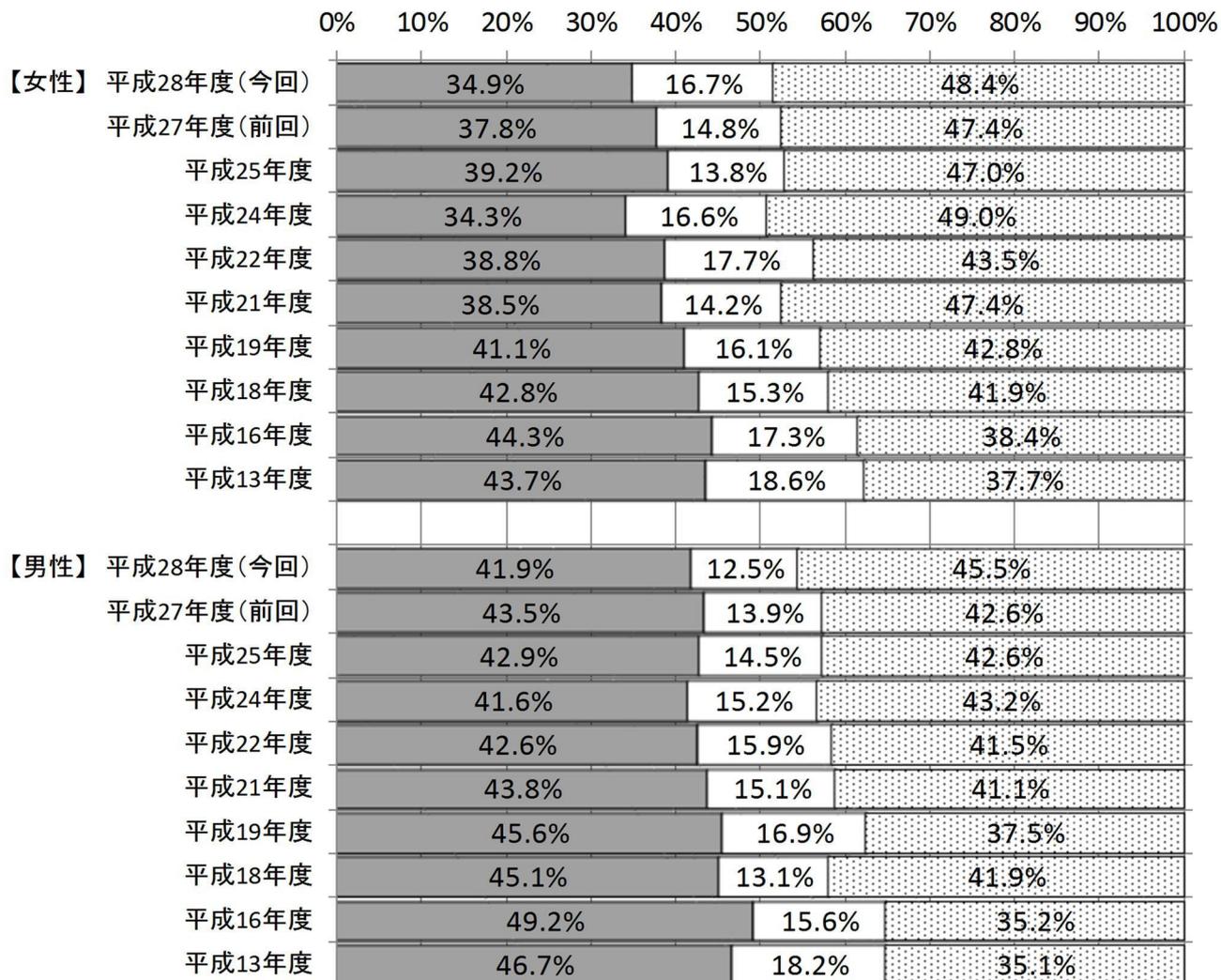
☆定期的に学習活動を行う人は3割以上を占めています。

月に数日以上の定期的な学習活動を行う人は 36.5%であり、3 割以上を占めています。前回の調査結果(39.3%)と比べると、2.8 ポイントの低下となっています。



性別で見ると、前回調査と同様に“女性”よりも“男性”の方が定期的に学習活動をしている人の割合が高くなっています。前回調査と比較すると、“月に数日以上自主的に学習活動を行う人”は男女とも減少しており、“女性”は37.8%→34.9%(2.9ポイント減少)、“男性”は43.5%→41.9%(1.6ポイント減少)となっています。

【学習活動×性別】

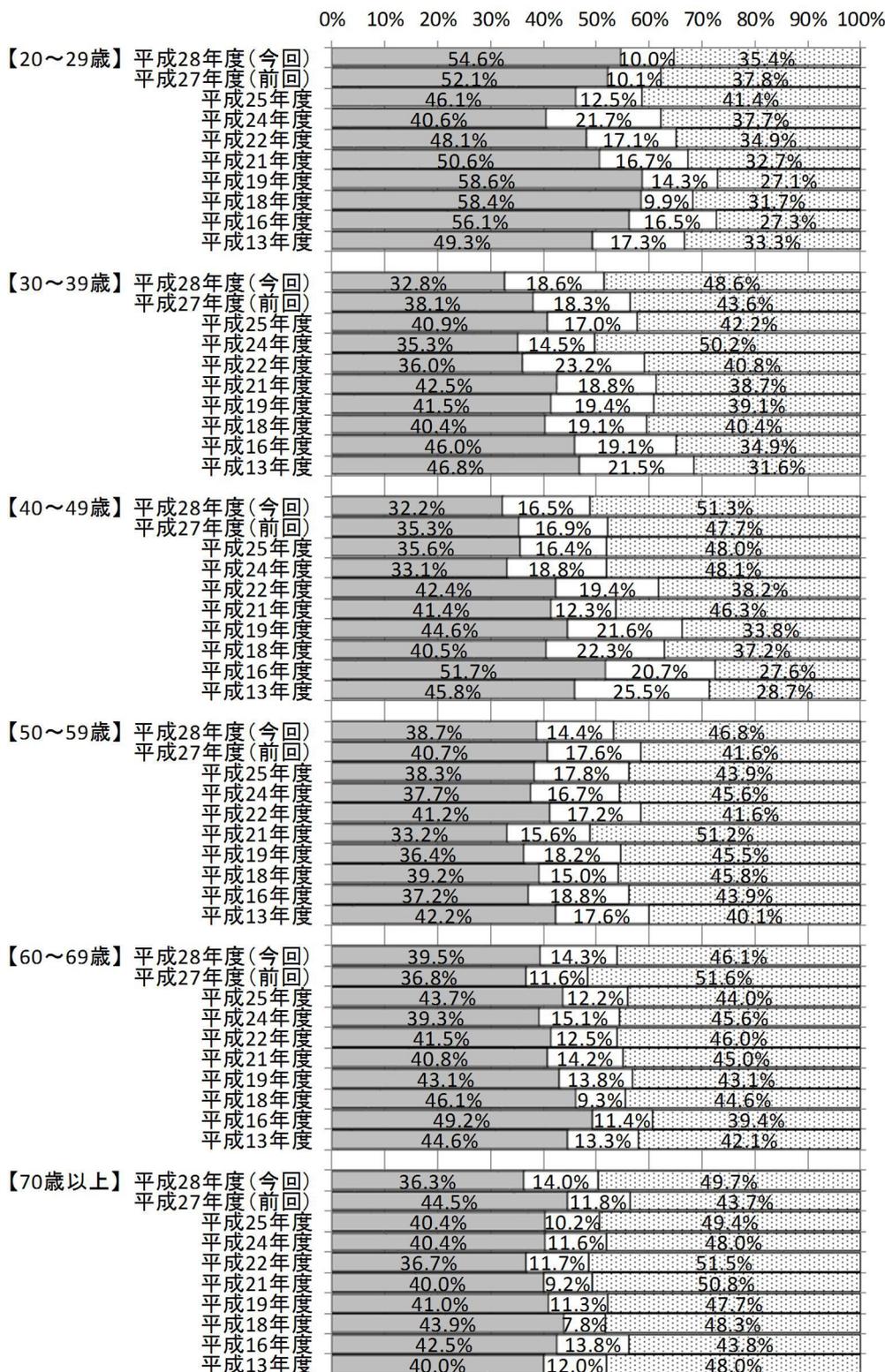


- “ほぼ毎日”と“週に数日ほど”と“月に数日ほど”の合計比率
- “年に数日ほど”の比率
- ▨ “全くない”の比率

年齢別にみると、定期的に学習活動を行っている人は“20～29歳”で54.6%であり、前回調査より2.5ポイント増加しています。次いで、“60～69歳”の39.5%であり、前回調査より2.7ポイント増加しています。

これら以外の年齢層では、前回調査より減少傾向となっています。

【学習活動×年齢】

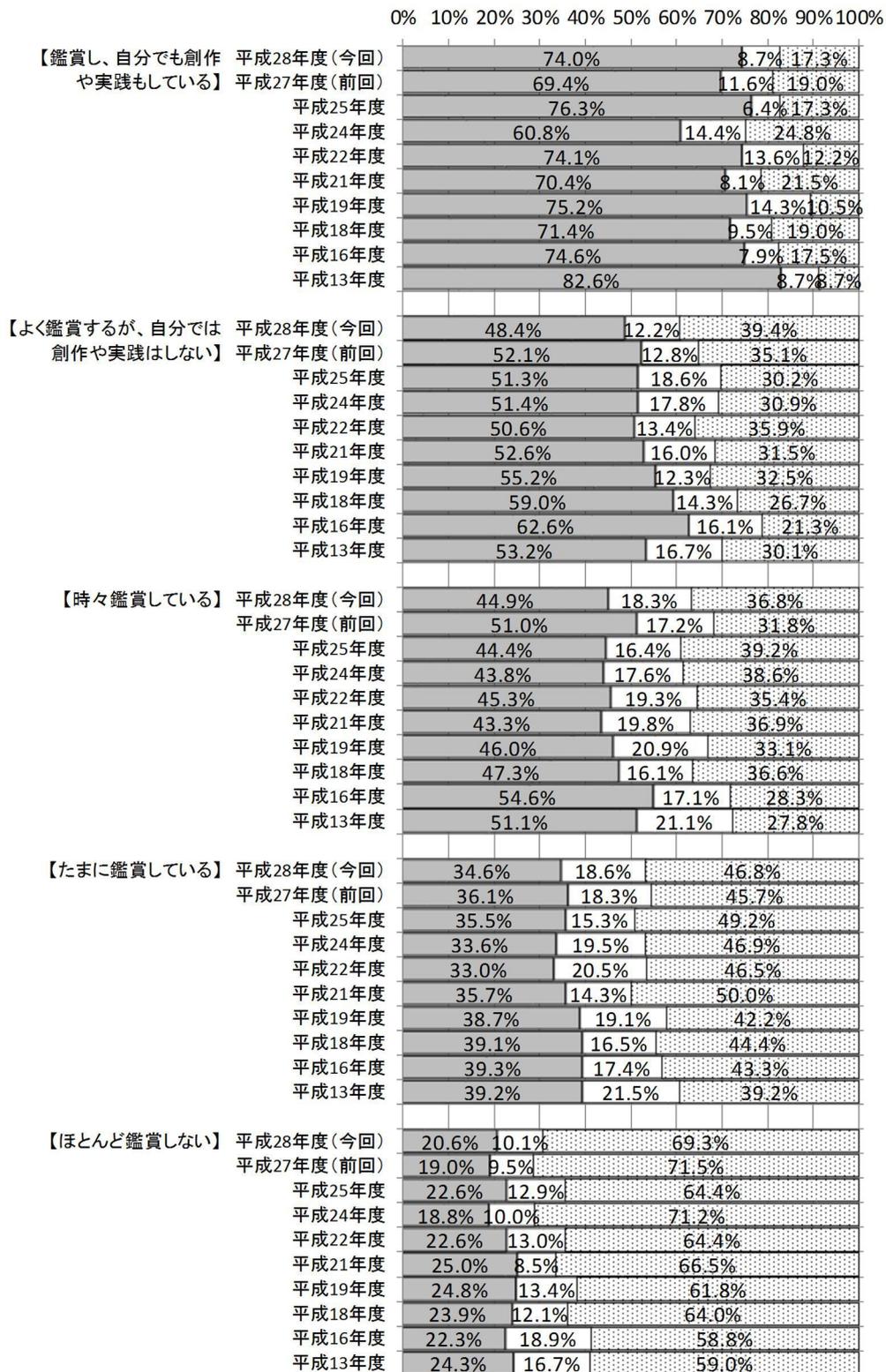


- “ほぼ毎日”と“週に数日ほど”と“月に数日ほど”の合計比率
- “年に数日ほど”の比率
- “全くない”の比率

芸術文化活動別にみると、自ら芸術文化活動を実践している人ほど定期的に学習活動をしている人の割合が高くなっており、74.0%を占めています。

一方、ほとんど鑑賞しない人の学習活動は、20.6%にとどまっています。

【学習活動×芸術文化の実施状況】



- “ほぼ毎日”と“週に数日ほど”と“月に数日ほど”の合計比率
- “年に数日ほど”の比率
- ▣ “全くない”の比率

## 指標

学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合

### (1) 指標の説明

地域づくりの基盤となる生涯学習社会の実現に向けて、学習活動の成果を地域社会で活かしている市民の割合を指標とします。

### (2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・態度(認知)」

Q8 あなたがこれまでに、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると思いますか。次の中から、活かされていると思う番号全てに○をつけてください

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1 仕事、職業に活かされている     | 5 親睦を深めたり、友人を得るときに活かされている |
| 2 自分自身の向上に活かされている   | 6 その他( )                  |
| 3 家庭や家族に活かされている     | 7 活かされていない                |
| 4 地域活動や社会活動に活かされている | 8 学習活動をしたことがない            |

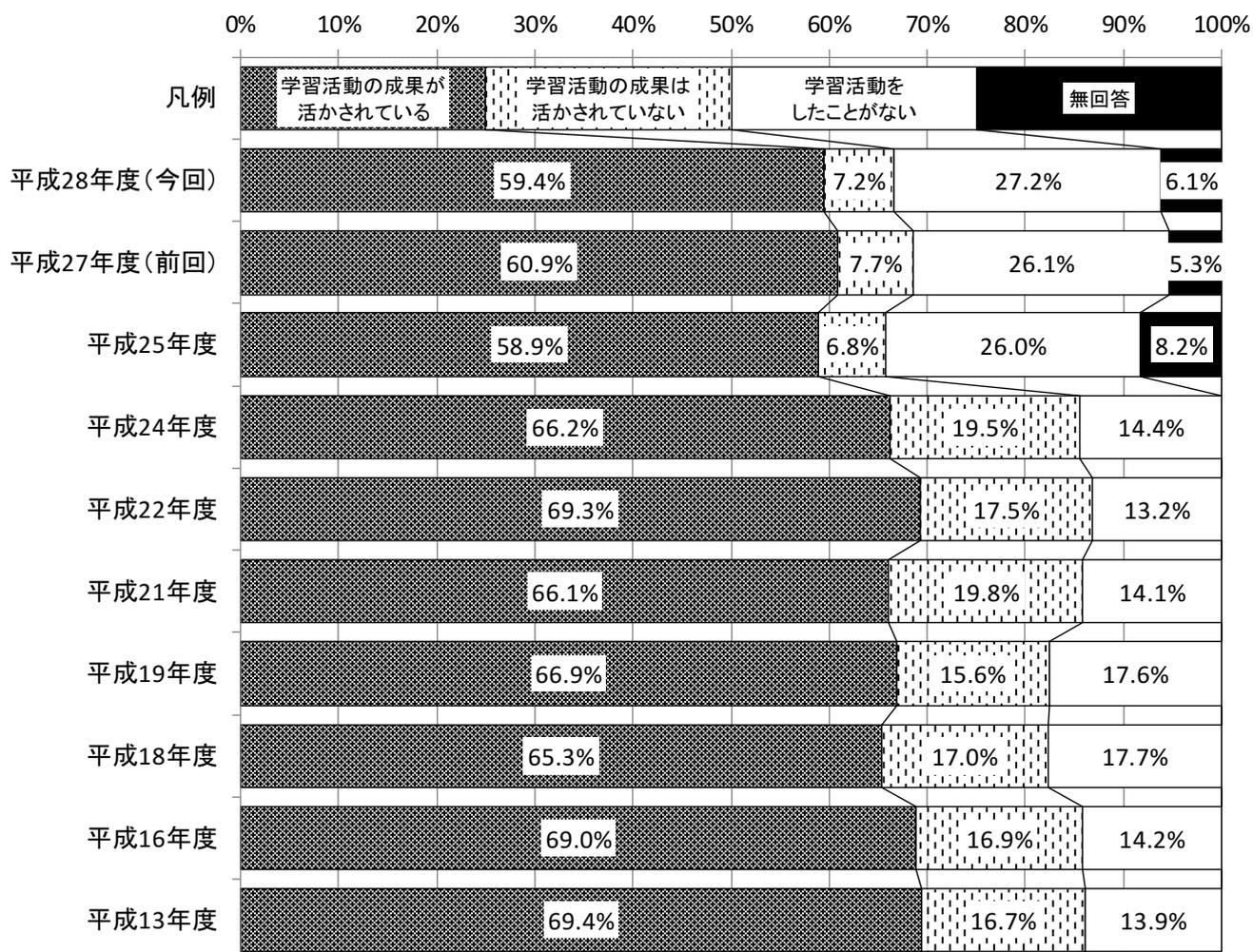
### (3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
成果が活かされている	69.4%	69.0%	65.3%	66.9%	66.1%	69.3%	66.2%	58.9%	60.9%	59.4%

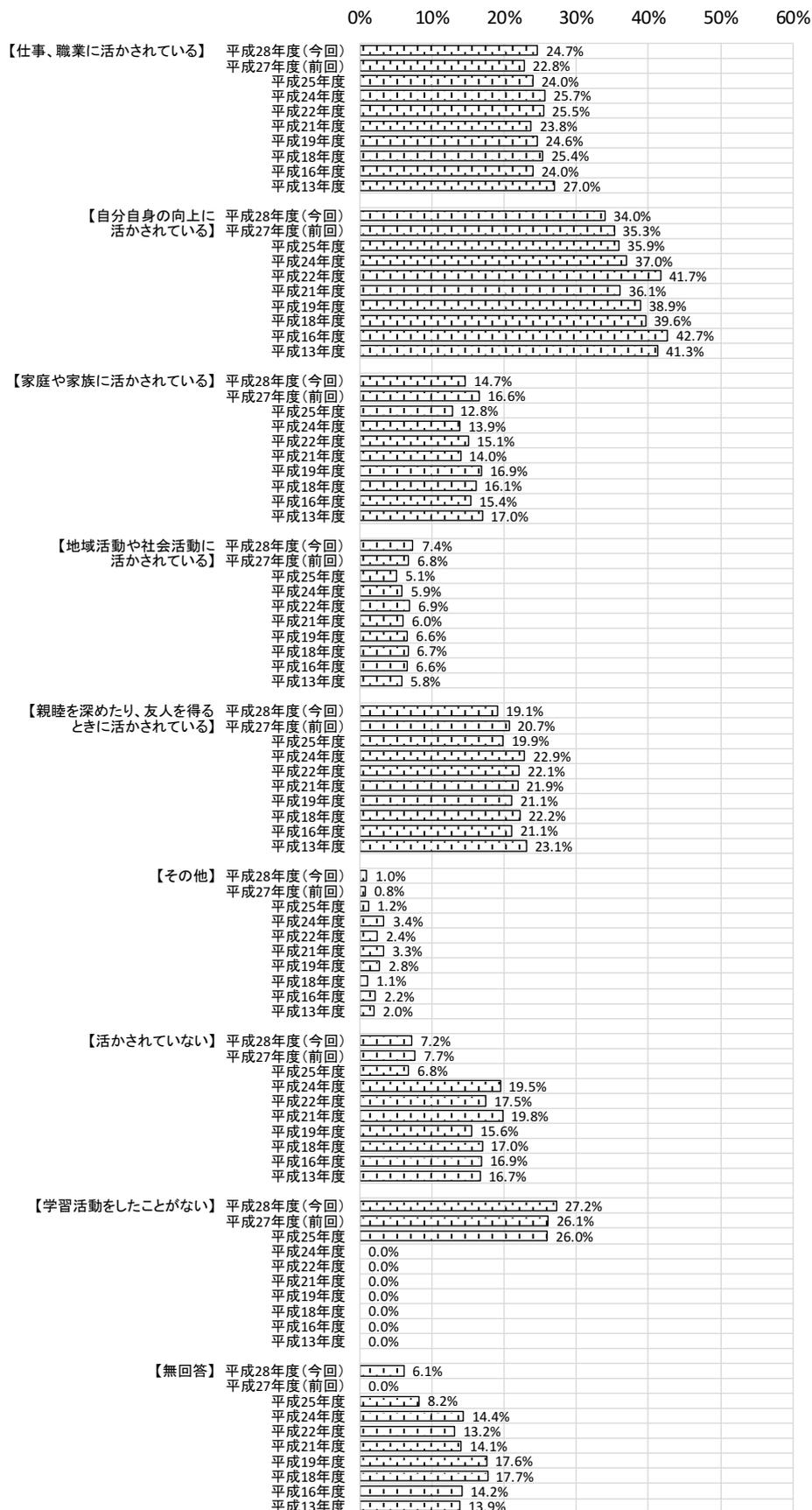
#### (4) 指標の分析

☆学習活動の成果を活かす人の割合は、減少。

自主的に取り組んだ学習活動の成果が何らかの形で活かされているかどうかについて尋ねたところ 59.4%が“学習活動の成果が活かされている”と回答していますが、前回調査より1.5ポイント減少しています。

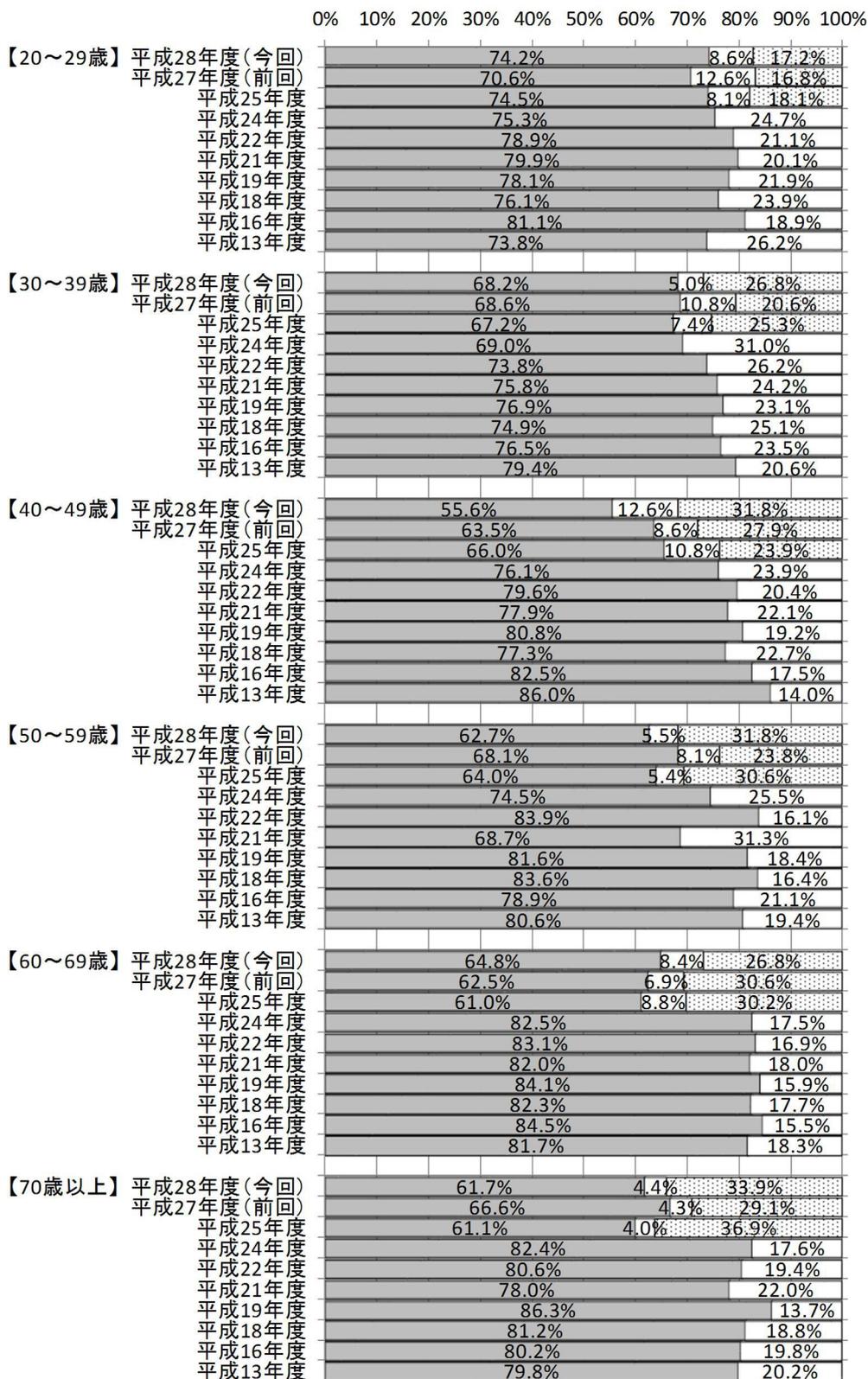


自主的に取り組んだ学習活動が活かされていることとしては、“自分自身の向上に活かされている”が 34.0%で最も多くなっていますが、前回調査と比べて1.3ポイント減少しています。一方、“学習活動をしたことがない”は27.2%ですが、前回調査より1.1ポイント増加しています。



年齢別にみると、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると感じている人は、“20～29 歳”が最も高く、74.2%となっており、前回調査より 3.6 ポイント増加しています。また、“60～69 歳”も前回調査より 2.3 ポイント増加の 64.8%となっています。これらの他の年齢層は、前回調査より減少しています。

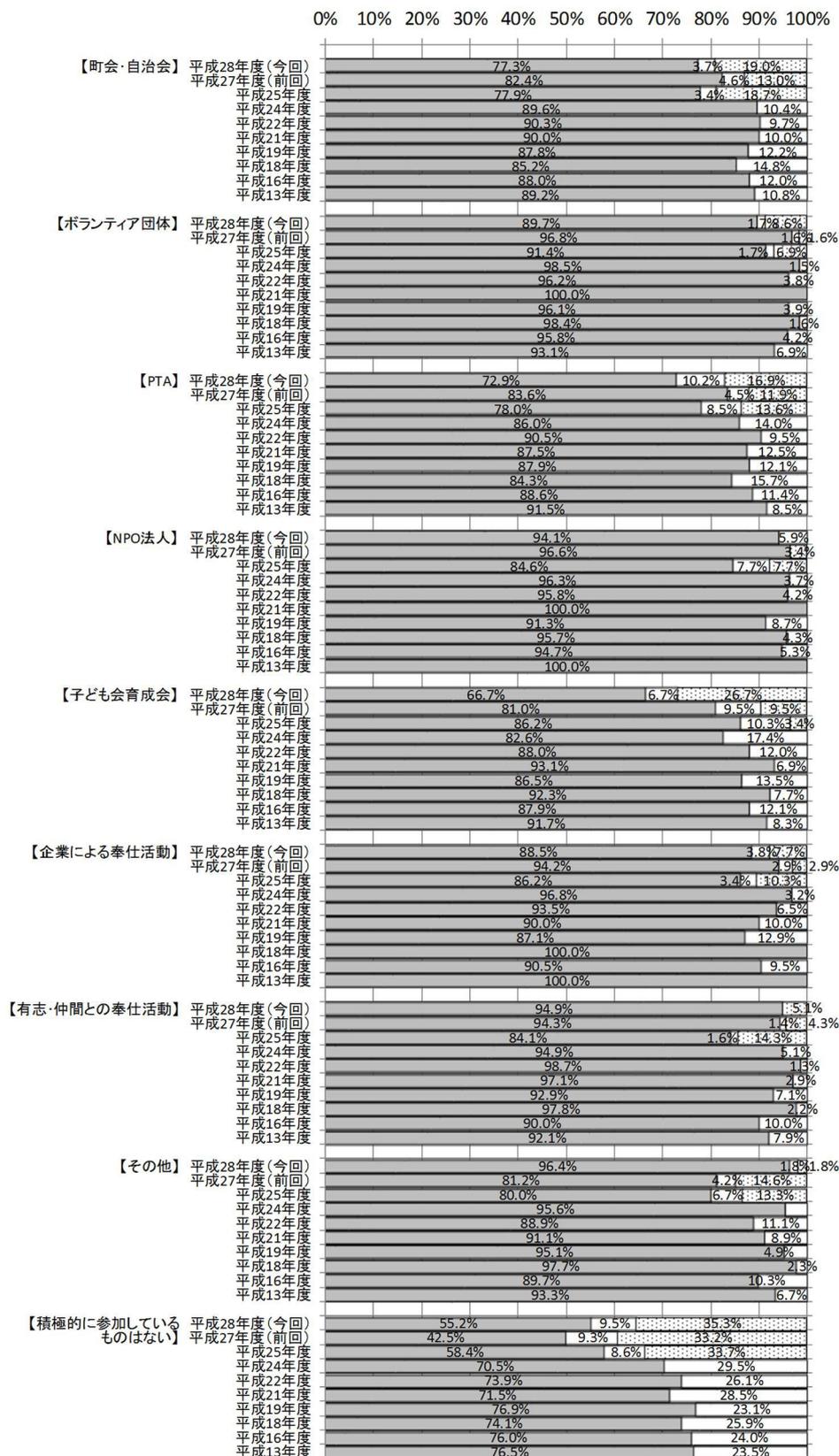
【学習活動の成果×年齢】



■ “成果が活かされている”の比率   □ “成果は活かされていない”の比率  
 ▨ “学習活動をしたことがない”の比率

地域活動への参加別にみると、前回調査と同様に何らかの地域活動に参加している人の方が、自主的に取り組んだ学習活動の成果が活かされていると感じている割合が高くなっています。

【学習活動の成果×地域活動への参加】



■ “成果が活かされている”の比率 □ “成果は活かされていない”の比率  
 ■ “学習活動をしたことがない”の比率

指標

スポーツを行なっている市民の割合

(1) 指標の説明

スポーツをすることで、身体・精神の両面に良好な影響を与え、ストレスの多い現代社会において人生をより豊かにします。そこで、スポーツの振興度合を把握するため、スポーツを行なっている市民の割合を指標とします。

(2) 設問

この指標は、次の設問により直接的に聞いています。「個人・行動」

Q12 あなたは日頃、運動・スポーツをしていますか。(1つに○)

- |               |                     |
|---------------|---------------------|
| 1 現在も継続的にしている | 3 以前はしていたが、現在はしていない |
| 2 最近、始めた      | 4 以前も、現在もしていない      |

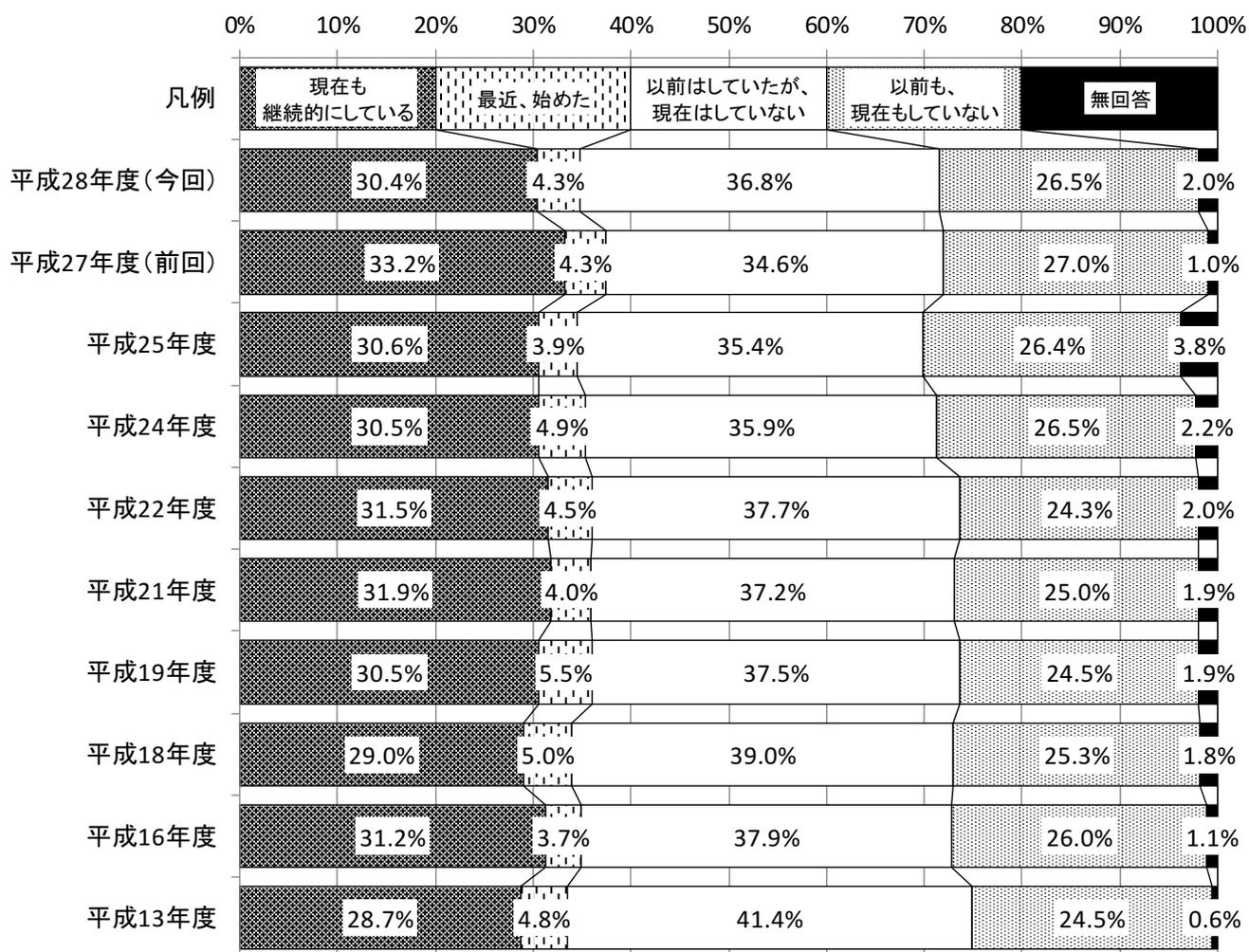
(3) 指標の現状

	平成 13年度	平成 16年度	平成 18年度	平成 19年度	平成 21年度	平成 22年度	平成 24年度	平成 25年度	平成 27年度	平成 28年度
現在も継続的にしている	28.7%	31.2%	29.0%	30.5%	31.9%	31.5%	30.5%	30.6%	33.2%	30.4%
最近、始めた	4.8%	3.7%	5.0%	5.5%	4.0%	4.5%	4.9%	3.9%	4.3%	4.3%
計	33.5%	34.9%	34.0%	36.0%	35.9%	36.1%	35.4%	34.4%	37.5%	34.7%

#### (4) 指標の分析

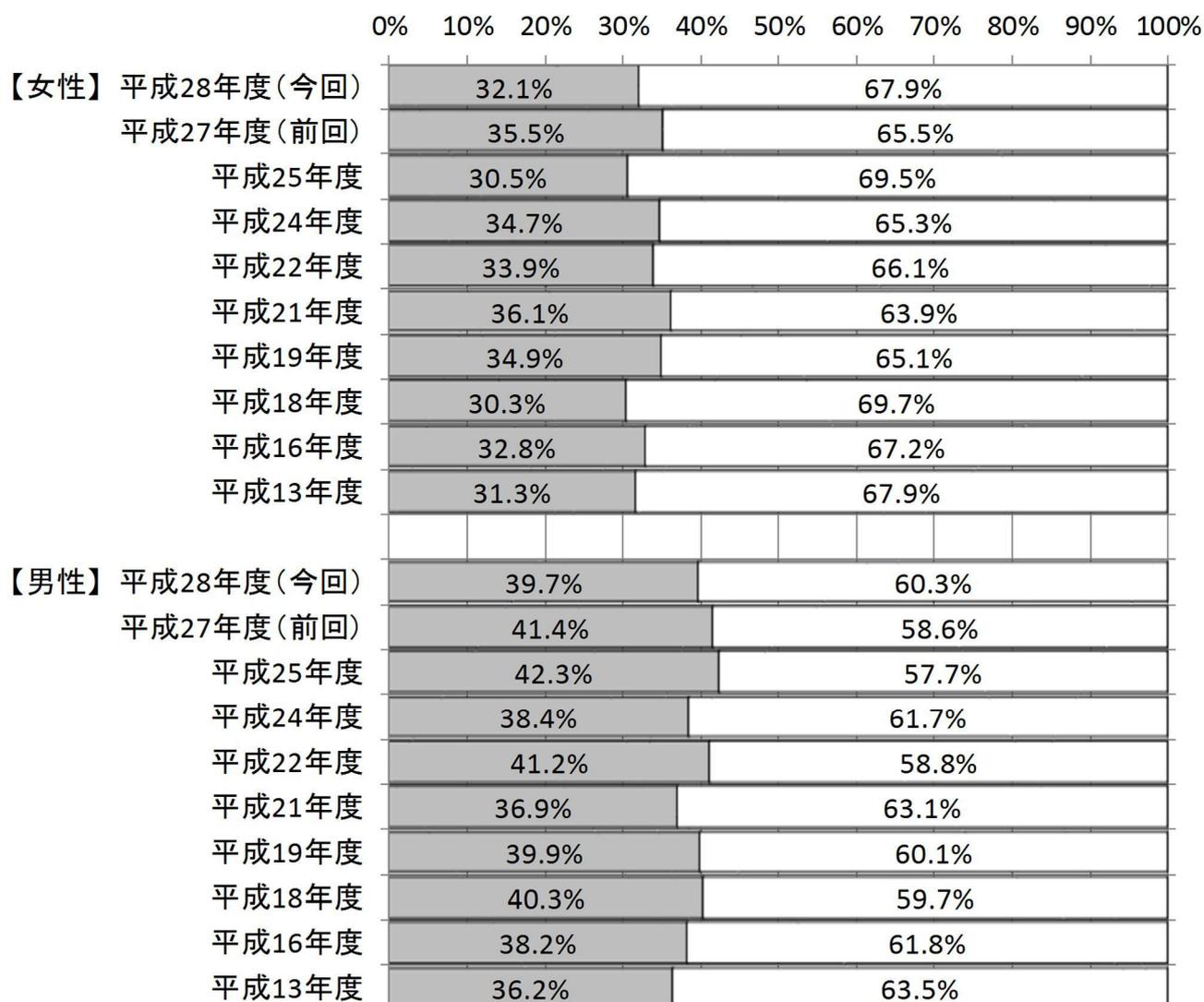
##### ☆日頃、運動・スポーツをしている人は約3割

日頃の運動・スポーツの状況についてみると、“現在も継続的にしている”(30.4%)、“最近、始めた”(4.3%)という運動・スポーツをしている人の割合の合計は 34.7%であり、3 割を占めていますが、前回調査に比べて 2.8 ポイント減少しています。



性別で見ると、スポーツ活動をしている割合は、“女性”32.1%、“男性”39.7%であり、前回調査と同様に、“女性”より“男性”の方が高くなっています。ただし、男女とも前回調査より減少しています。

【スポーツ活動×性別】

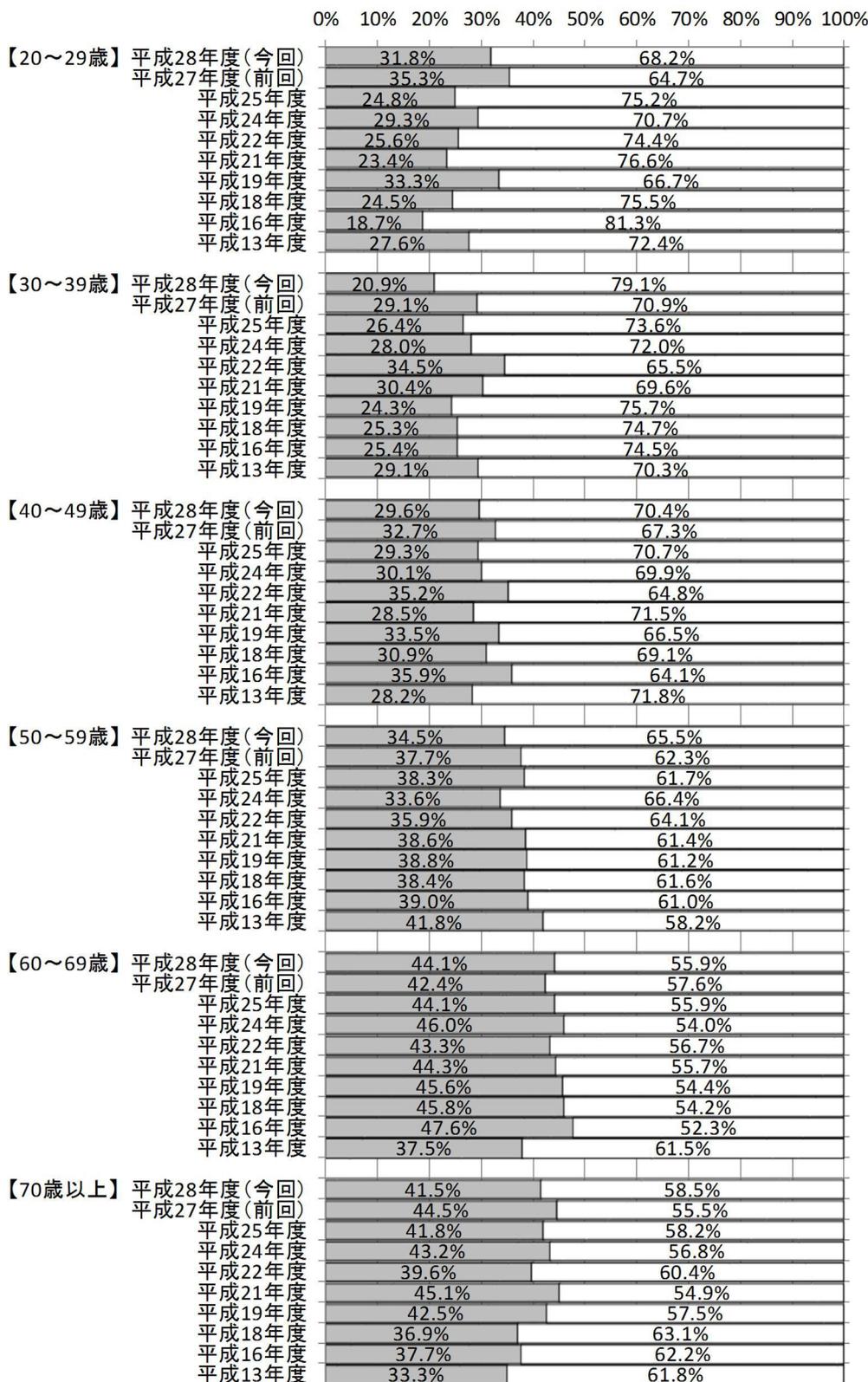


■ “現在も継続的に行っている”と“最近、始めた”の合計比率

□ “以前はしていたが、現在はしていない”と“以前も、現在もしていない”の合計比率

年齢別にみると、スポーツ活動を行っている人は“60～69歳”で前回調査より1.7ポイント増加して44.1%となっています。しかし、60歳代以外の年齢層では、いずれも前回調査より減少しています。とりわけ、“30～39歳”は20.9%であり、前回調査より8.2ポイント減少しています。

【スポーツ活動×年齢】

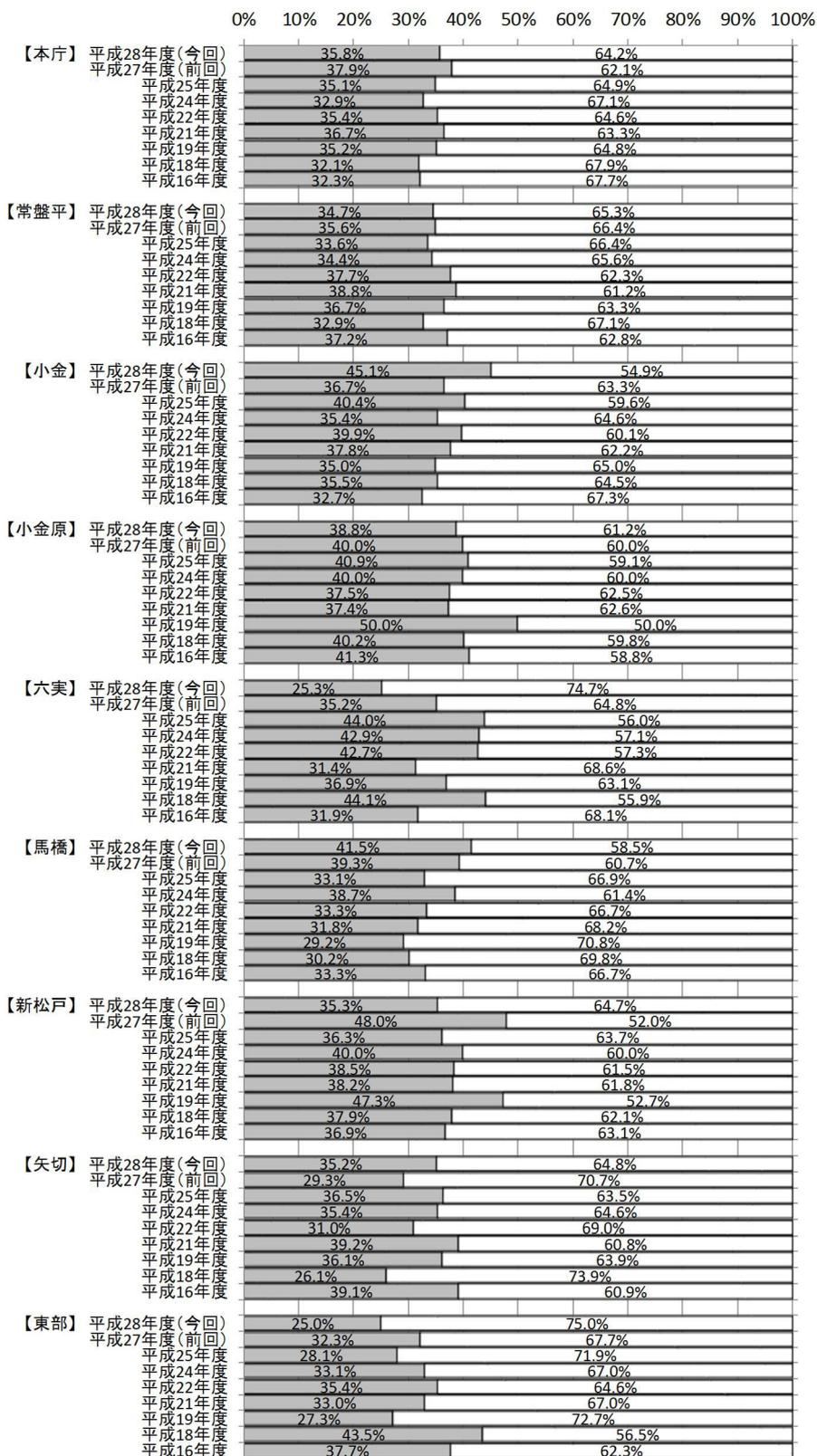


■ “現在も継続的に行っている”と“最近、始めた”の合計比率

□ “以前はしていたが、現在はしていない”と“以前も、現在もしていない”の合計比率

地区別にみると、スポーツ活動を行っている人は、“小金地区”が最も多く、45.1%となっています。次いで、“馬橋地区”の41.5%の順となっています。一方、“六実地区”では、前回調査より9.9ポイント減少しており、25.3%となっています。

【スポーツ活動×地区】



■ “現在も継続的にしている”と“最近、始めた”の合計比率  
□ “以前はしていたが、現在はしていない”と“以前も、現在もしていない”の合計比率

